



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY



第27回例会(4月16日)
令和3年4月23日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内
例会場 同上 TEL 019 (651) 1111(代)
例会日 毎週金曜日12時30分～
<https://www.morioka-rc.jp/>

会長 米内 正
幹事 大平 騰一
会報 佐藤 仁志
クラブ事務局 TEL 019 (653) 5682
FAX 019 (653) 5622

RI会長テーマ Rotary Opens Opportunities:ロータリーは機会の扉を開く…ホルガー・クナーク
盛岡RC会長テーマ 奉仕の輪を拡げ困難を乗り越えよう 米内 正



ゲスト卓話

異彩を、放て。

株式会社ヘラルボニー代表取締役副社長

松田文登 様

障害のある方の違いを個性として尊重して、それを仕事にしています。

私たちは双子の兄弟で会社を設立しました。私たちの4つ上の兄が自閉症で、「障害を持って大変だね」と言われたりしたのですが、私たちにとっては兄は兄でした。

「障害が絵筆に変わる。」障害ゆえのこだわりが繰り返しの表現になっています。ずっと黒丸を描き続けたり、字と字をつなげる方もいます。この繰り返しのプロデュースすることができれば、、、と思ったわけです。

■アートとしてプロデュースすれば、、、

私たちの会社は、全国30以上の施設と提携し、2000点以上の作品のライセンス契約を結んでいます。スタッフはあえて「福祉」とは関係のないスキルを持つメンバーを中心にしています。障害者の平均賃金が月額16,118円という現状のなかで「かわいそうだから、買ってあげる」ではなく、「これが欲しいから買う」と言う立場に転換していきます。障害のある人たちをアーティストとして社会に出していきます。きっかけは、福祉施設で障害のある人が作っていた革細工で、何日もかけて作ったものが道の駅で1000円ぐらいで売られていました。きちんとプロデュースして商品としてのクオリティを高め、販売できる環境にしていけば、アーティストの収入も増え、世の中の目も変わるかもしれません。

■世界に向けて、でも盛岡を大切に。

世界125箇所の海外販売に対応できるようになりました。全国6店舗で販売拠点があり、その最

●スピーカー紹介●

株式会社ヘラルボニー

松田崇弥CEO、松田文登COOの双子の兄弟で設立。社長の崇弥氏は小山薫堂率いるブランドデザイン事業の「オレンジ・アンド・パートナーズ」を、文登氏は株式会社タカヤの営業マンを経て2018年7月にスタートした。2019年9月には雑誌フォープスジャパンで世界を変える「30歳未満の30人の日本人」のソーシャルアントレプレナー部門に選出された。2021年1月、本社を盛岡市に移転。

初は地元のカワトクからスタートしました。他に丸井やパルコ、東急百貨店、高島屋や阪急などです。そしてインテリアの事業にも取り組んでいます。盛岡のバスセンター3階のホテルにも部屋ごとにデザインするように提案しています。4月25日から盛岡市内にギャラリーをオープンし、本社が盛岡にあることを全国的にアピールします。

全国でハンカチをデザインして販売したり、ベアレンビールの販売、アートなサバ(Cava)缶も今月末からスタートです。パナソニックのオフィス、大日本印刷では従業員さんがアートマスクにするようになりました。イオンさんではエコバックも。

私自身もゼネコンにいたので、建設現場の仮囲いをアートミュージアムにもして、全国で展開しています。吉祥寺駅や花巻駅も地元のアーティストによるラッピングもすることによって、障害者の方々の理解が進むことが大切なんです。また、岩手県産のシールも作りました。廃棄されるホヤを商品化してみました。

■これから

ヘラルボニーの存在があることで、障害者の誇りが高まり、幸せな時間と収入が増え、新しい生き方の選択肢が増えていきます。色々なところで繋がりが、根本的な人生も変わっていく可能性もあるかと思っています。「障害」＝「欠落」と言うイメージを変えていきたいです。

偶然ですが、本日(4月16日)19時からクラウドファンディングがスタートします。「地方都市盛岡市に新しいギャラリーをオープンし、障害の

イメージを変容させる挑戦」に対し300万円を募っています。



本日は貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。今後ともぜひ、応援ください！

ヘラルボニー は、自閉症の兄がいたことで誕生しました。

「ヘラルボニー」という聞き覚えのない単語は、自閉症の兄・翔太が7歳の頃に自由帳に記した言葉です。検索してもヒット数は0、本人に聞いても「わからない！」の一点張り。でも兄にとっては、耳心地がよかったのか、字面が好きだったのか、魅力を感じた何かをききと、そこに見出していたと思うのです。ヘラルボニーという社名には、一見意味がないとされるものを、「価値あるもの」として魅せていきたいという思いが込められています。

契約福祉施設（抜粋）

2000点以上のアート作品のアーカイブが全国の福祉施設より集結。

北は岩手、南は沖縄、海外はポストン。国内外の30以上の福祉施設・団体・個人との契約。御社の要望に応じたアート作品を提供します。

Swing (京都府) アトリエやっほっ!! (京都府)
アトリエラヴ
ポストン (海外)
やまなみ工房 (滋賀県)
自然生クラブ (茨城県)
らびにい美術館 (岩手県)
多摩多摩会中山工房 (宮城県)
はじまりの美術館 (福島県)

MISSON

異彩を、放て。

障がい、その、ひとつくりの言葉の中にも、無数の個性がある。豊かな感性、繊細な手先、大胆な発想、研ぎ澄まされた集中力・・・

“普通”じゃない、ということ。それは同時に、可能性だと思う。

僕らは、この世界を隔てる、先入観や常識という名のボーダーを超える。そして、さまざまな「異彩」を、さまざまな形で社会に送り届け、福祉を起点に新たな文化をつくりだしていく。

福祉実験ユニット **ヘラルボニー**

OUR SERVICE

01 | ファッション FASHION

HERALBONY「ちがう世界から、ちがう世界を届き出す」をテーマに、様々なアイデンティティをもつ知的障害のあるアーティストが傑作アート作品をプロダクトに落とし込み、社会に提案する。クリエイティブを積極的にブランディングすることで、社会に新しい価値の提案を目指す。

HERALBONY Co.,Ltd.

HERALBONY ECサイト | shopify オープン

D2C強化、世界125カ国の海外販売に対応。

東北D2Cアワードの受賞特典として、越境EC支援サービス「worldshopping BIZ チェックアウト」の導入支援を受け、世界125カ国への販売が可能に。多言語対抗・海外決済・海外販売までを一気通貫で提供する本サービスの導入によって、世界を舞台に「障害」のイメージ変容に挑戦します。

POP UP STORE 展開実績

SHIBUYA SCRAMBLE SQUARE
OIOI
TOKYU PLAZA
Hankyu
PARCO
東急百貨店 TOKYU
Takashimaya

全国の百貨店にリアル店舗を出店 | 事例

「川徳百貨店」に店舗をオープン。

2020年8月より、弊社の本拠地である岩手県盛岡市において唯一の老舗百貨店「川徳百貨店」にアートライブアワード「HERALBONY」を出店。それを皮切りに、全国各地の商業施設で店舗を展開。

OUR SERVICE

02 | インテリア INTERIOR

HERALBONY:「ちがう視点から、ちがう世界を描き出す」をテーマに、強烈なアイデンティティをもつ知的階級のあるアーティストが描くアート作品をプロダクトに落とし込み、社会に提案する。クリエイティブインテリアを徹底的にブラシングすることで、社会に新しい価値の提案を目指す。

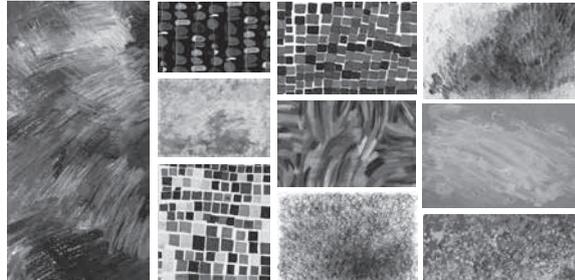


HERALBONY Co.,Ltd.

OUR SERVICE

03 | アートライセンス LICENSE

「複製 × アート」という、従来あり取られてこなかった分野をビジネスと結びつける新しい試み。HERALBONYが契約する多岐の福祉施設で組み込まれたアート作品をライセンスが持つ様々なモノ・コト・バシユに転用することで、知的階級のあるアーティストの新しい価値提案を実現する。当事業に参加することを通じて、企業はステークホルダーに対しCSRに貢献する先駆的な企業であることを効果的に発信することができる。



HERALBONY Co.,Ltd.

HOTEL MAZARIUM

ホテル事業 (バスセンター開発事業)

ホテルの宿泊室の内装を弊社がプロデュース。宿泊料金から数%がアーティストにバックする仕組みをつくることで、社会的価値の持続可能な発展を目指す。将来的には川島織物セルコンと連携し、最高品質のアートインテリア家具の製造・展開を目指す。




カーテンデザイン artist 工藤みどり

販売プロダクトライセンス事業

販売ライセンスのフロー



HERALBONY × TOMORROWLAND × BAEREN × HERALBONY

日本の福祉事業所を統括する全国組織『まよきねん』と若手限定発注の「なんびに(美術展)」。TOMORROWLANDとコラボレーション。ZOZOTOWNのハンカチ部門の売上ランキングで1位を獲得。

若手限定発注にブルワリーを兼ね、日本のクラフトビールでグランプリを受賞した「ベアレン醸造所」が、2003年に初めて製造したビール、「コロニア」を復興醸成。17周年記念ラベルとして、HERALBONYと契約を結ぶ。アーティスト、小林稷の作品「雑居の宿」とコラボが実現。



販売プロダクトライセンス事業 | 事例

Cava?缶 | アート缶



Cava?缶 | アート缶

ワンショットライセンス事業 | 事例

作品使用までのフロー



作品を選定
↓
福祉施設確認
↓
使用許諾
↓
高解像度データお渡し
↓
デザイン
↓
福祉施設確認
↓
使用許諾
↓
入稿・生産

モデル事例 Panasonic Laboratory Tokyo

6階オアシスエリア「Destination Lounge(通勤などのストレスをリセットし、独自のインスピレーションを得る場)」の壁面・クッションに使用されるアート作品を提供。

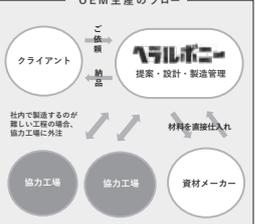


ノベルティ事業 (OEM生産)

OEM生産

他社ブランドの製品を一貫して製造する生産方式。製作・納品を弊社が担う。

OEM生産のフロー



ART MASK (大日本印刷労働組合のノベルティ生産)
アートマスクの生産から納品までを弊社が一括で担います。

ART ECO BAG (イオン労働組合のノベルティ生産)
ソーシャルグットとCSR(ステークホルダーとの関係構築)を実現する企業のノベルティ受注・製造が可能です。

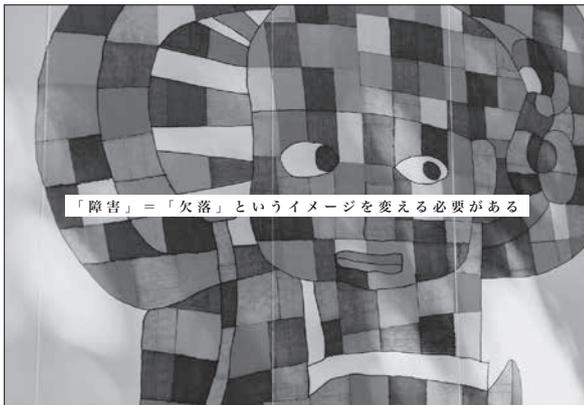
全日本仮囲いアートミュージアム

BUSINESS FLOW

仮囲いアートのビジネスフロー



全日本仮囲いアートミュージアムは、建設・住宅を守る「仮囲い」を新発見ができる期間限定の「ミュージアム」と捉え直す地域活性型のアート・プロジェクトです。建設現場を囲う「仮囲い」を知的な階級のあるアーティストが描くアート作品で彩り建設現場の仮囲いが活用から企業の利益につながる形で、仮囲いの新しい可能性を追求していきます。



例会報告

第27回例会
令和3年4月16日(金)

場所：ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング

12時30分 開会点鐘

- ・司会 米内正会長
- ・ロータリーソング
(それでこそロータリー)

- ・ゲスト 松田文登様
(株)ヘラルボニー副社長
- ・会長報告 米内正会長
- ・幹事報告 大平騰一幹事
- ・委員会報告

【ニコニコBOX】

- ◆米内正君…知的障害のあるアーティストの作品をファッション性の高いアイテムにプロダクト化し展開する

「ヘラルボニー」社のコンセプトを副社長の松田文登様にご講演いただきました。ありがとうございます。今後もし活躍を期待しております。感謝を込めてニコニコします。

◆金沢滋君…日本いや、世界に出て活躍していただきたいヘラルボニーの松田さんをご紹介できてニコニコです。社会に貢献できるビジネス。まさに職業奉仕ですネ!!

プログラムのお知らせ

- ・ 4月23日(金) 会員卓話 畠山将樹会員「『ロータリーの友』のすゝめ」
- 30日(金) 特別休会
- ・ 5月7日(金) 新入会員卓話 三原康展会員
- 14日(金) ゲスト卓話 右京昌久様 (盛岡いのちの電話 理事長)
- 21日(金) 新入会員卓話 晴山和泰会員
青少年育成団体支援金贈呈式
- 28日(金) 新入会員卓話 長沼博会員

●本号編集担当/西館政美